



ヨゼフ アベイヤ司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 浦川務
編集人 浦川務
カトリック福岡教区
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡教区
定価 1部70円

2月の意向

【教皇の意向】司祭職や修道生活への召命
【日本の教会】病者

2025年聖年 「希望の巡礼者」開幕ミサ

教皇フランシスコは昨年5月9日、2025年の通常聖年を公布する大勅書『希望は欺かない』を発表した。テーマは「希望」である。そして、2024年12月24日にパチカンの聖ピエトロ大聖堂の聖年の門が開かれ、2025年の聖年が始まった。



聖年の扉（大名町教会）を開くアベイヤ司教

「聖家族の祝日」のこの日、約320人の信徒が聖年の開幕ミサに集った。14時に大名町教会の「門」を叩き、アベイヤ司教と全員がともに祈りを捧げた。ヨハネに

よる福音書14章1節から7節が朗読され、次に、聖年を公布する大勅書『希望は欺かない』の冒頭の部分と終わりの部分の朗読された。そして、聖堂への行列に移った。十字架を先頭に行列をなし、外階段を上り聖年の扉の前で立ち止まった。アベイヤ司教は十字架を高く上げ、「キリストの十字架はわたしたちの唯一の希望」と祈り、聖年の扉を開けて入堂した。

ミサは灌水式から始まった。アベイヤ司教は、説教の冒頭で「今日、世界のすべてがカテドラルの聖年の門が開かれます。これは教会が一つであることを表すしるしです。私たちが心を合わせて聖年の門を開きました。世界情勢を見ると心が痛みます。希望が必要なのです」と語り、フランシスコ教皇は、私たちが「希望の巡礼者」としてこの1年を歩むことを望んでいると述べた。さらに、多くの神の子どもたちから希望が奪

聖年の祈り
天の父よ、
あなたは、わたしたちの兄弟、御霊を燃え上がらせてくださいました。この信仰と愛によって、神の国の訪れを待ち望む、祝福に満ちた希望が、わたしたちのうちに呼び覚まされますように。
あなたの恵みによって、わたしたちが、福音の種をたゆまず育てる者へと変えられますように。
この種によって、新しい天と新しい地への確かな期待をもって、人類とすべてのものが豊かに成長していきますように。
そのとき、悪の力は打ち払われ、あなたの栄光が永遠に光り輝きます。
聖年の恵みによって、希望の巡礼者であるわたしが喜びと平和が永遠にほめたたえられるように。
あなたに、栄光と賛美が永遠にありませぬ。
アーメン。

とうとう100年になるのか。福岡教区誕生のことです。何か記念になることをやろうとの熱意が感じられる頃です。すばらしいことです。このように決まるとは、前回の聖なる動きは立派な結果となつて現れてくることでしょうか。みんなそうさせなくてはならない筈です。
このような立派らしいことを言いながら、ゆつたりと病室で横になっていて、「百歳だ！百歳だ！」とドラ声で叫ぶ老人が1人おられます。全く恥ずかしいことです。それが何と山頭原太郎です。皆さま

百歳翁の山頭原太郎神父から
皆さまへ
正月から大変な災害に日本中が苦しんだ2024年でした。
世界では、まるで殺人の



山頭原太郎神父 (福岡教区司祭)

2025年聖年を迎えて 聖年と免償について

私たちは、いま全世界の兄弟姉妹と共に聖年を迎え喜びに満ちています。しかし、恵みの年であるはずの聖年が単なるイベントになる危険もあります。そのために、改めて聖年について少し考えましよう。



ルーチェ (聖年公式マスコット) と仲間たち

聖年とは「教皇が一定の条件を満たす信者に、盛式全免償を付与する年。定期的に行われる通常聖年(近世は25年ごと)と特別な意向のために行われる特別聖年がある(カトリック大辞典)。つまり、聖年とは教皇がキリストの代理者としてその名によって、

場のように、戦争などで殺し合うことが日々伝えられる時に、福岡教区では、このようなすばらしい動きが顕現していることは決して当たり前のことではありません。この聖なる動きは立派な結果となつて現れてくることでしょうか。みんなそうさせなくてはならない筈です。
このような立派らしいことを言いながら、ゆつたりと病室で横になっていて、「百歳だ！百歳だ！」とドラ声で叫ぶ老人が1人おられます。全く恥ずかしいことです。それが何と山頭原太郎です。皆さま

ふるさとの

「長崎は私の故郷ではない。幾度となくここを訪れてから心の故郷になっていった」として「心の成長に忘れることはできぬ街となった」(遠藤周作と歩く「長崎巡礼」新潮社)。これは遠藤周作が語った文章である。この文章に触発されて、自分にとっての心の故郷について考えてみた。長年暮らした石川県金沢市を去って早10年、金沢は第2の故郷と言えるが、心の故郷と呼べるだろうかと考えたのである。▼年賀状じまいを送った金沢の友人に、「年賀状の交換は終わっても、あなたはいつも私の心の友です」と書いたことを思い出した。親しい友人たちがいて、何かの折には行き来することもいとわれない。互いの身内が天に召されたときには寄り添いあう。能登半島地震の被災地や知人たちを覚えて祈りを分かち合う。行くと思わず思い出の場所にとたずむ。つらく悲しい思いもあるが自分を大人にしてくれたと思える。自分にとって心の故郷とは、改めて自分と向き合わせ、励まし勇気を与える心の拠りどころでもあると思ひ始めた。▼しばらくして、愛称聖句の「詩編23篇」を音読した。「命の有限り、恵みと慈しみはいつまでもわたしを導く。主の家にわたしは帰り、生涯、そこにどまるであろう。」(詩編23:6)。主の家はすでにあなたの心の中にありますよ。という声が心に響いた。すると、思い巡らした心の故郷がストンと胸に落ち、恵みへの感謝と安堵の気持ちにおちついた。▼2025年、聖年を「恵みのとき」として、金沢と能登へ希望の巡礼をしようと思

◆ 福岡教区創立100周年に向けて ◆

2027年7月16日、福岡教区は創立100周年を迎えます。これを受け、教区報では、各小教区や団体が100周年に向け取り組んでいること、心がけていることなどについて具体的な活動を紹介していきます。「創立100周年」の情報は右記QRコードからご覧になれます。



今村教会 「未来の今へ！」

少し寒い風が秋の深まりを感じさせる10月20日、今村教会はアベア司教様の小教区訪問を頂き、司教様の司式によって午前8時と10時のミサが捧げられました。司教様はミサの説教において、世界宣教の日にちなみ、人々に希望をもたらす心の渇きを癒すイエスの教えを周りの人々に宣べ伝えることが大事であると話されました。



工事の間、ミサは信徒会館で行われている

ミサ後の懇談では、さまざまな教会の訪問で信徒の方々に出会い、話することが嬉しいとこやかに話されていました。また、今村天主堂の10年間の工事について、今回の事業は、長年受け継いでいる信留めながら取り組んでいく気持ちの大切さについてお話いただきました。

さらに、教区創立100周年について、今年『互いに支え合う交わりの教会』ということで、さまざまな理由で教会から遠ざかった仲間へ声をかけ連れ戻す良い機会として欲しいとも話されました。懇談後は茶話会が屋外で準備され、司教様とそれぞれ懇談し心温まる和やかな雰囲気なかで会は終了しました。今村教会では教区創立100周年に向けての2年目の目標である『未来に開かれた教会となる』を見据え、信徒一人ひとりがさまざまな理由で教会から遠ざかった青年に声をかけ、信仰の大切さを今一度実感する機会となるよう常に意識しながら視野を広げ生活できればと思っています。また、外国から来られている方々にも積極的に声掛けし、信仰を大切にしたいの心の輪ができるよう努めたいと思います。なお、今村天主堂の耐震対策・保存修理事業もあるため、「未来の今へ！」を合言葉に沢山の方々に天主堂を知って頂き、おいで頂き、祈って頂き、信仰の扉を開いて頂けるよう情報発信も心掛けたいと思っています。

今村教会 信徒 平田 秀信



美しい歌のハーモニーに多くの人が魅了された

熊本県の北に位置する玉名教会で、待降節第2主日に開催した「第9回玉名教会クリスマスコンサート」。コロナ禍のため見送っていたが、やっと落ち着いたが、一昨年よりの再開である。今年も教会の聖歌隊のみならず、在郷の音楽家の方々にも出演を依頼し、歌唱、バイオリンやフルートの演奏、コーラボレーションと多彩で参加の皆様に

熊本地区 玉名教会 クリスマスから新年へ、心を一つに



沈黙の中で聴こえてくる声に耳を傾けて

も大好評であった。そして演奏後には、信徒手作りのお菓子や差し入れで茶話会が行われ、初めてのお客様も参加して笑顔で談笑しているのを目にした。このような継続的な活動が布教の一助となり、カトリック教会へ近しい気持ちをもってもらえたら、教会の少子高齢化の歯止めにも少しも貢献できるのではないかと考えたところであった。聖年の2025年は幕を開けた。本教会でも元旦のミサが執り行われ、30人ほどの信徒が与った。また真命山のシ

報告 成川千代子

福岡地区 古賀教会 大晦日23時 ホーリーアワーのひととき

ホーリーアワーがいつから始まったのか、古賀教会の古老方の誰も知らないが、大晦日の23時になると聖体顯示が行われる。祭壇の上を除き、聖堂内の照明は消され、1時間の黙想が始まるのだ。今年1年を振り返り、失敗

したことが怒ってしまったことなどが思い返される。時間が過ぎるにつれ思いはあちこちに飛んでいき、反省したり悔んだりもする。結局、毎年同じことを繰り返しているようにも、ちつとも変わっていないようにも思う。

そして、新しい年には生まれ変わろうと神の導きを願う。願い続けるうちに、かなわなくても御心のままなのだから、何も心配することもないのだと思うようになる。やがてこのころになると、黙想も終わりの時間になる。そして聖堂に明かりが灯り、新年のミサが始まるのだ。

日本に派遣されてからの日々を振り返ると、全てが感謝の気持ちで満たされていると感じます。2019年2月に韓国の仁川教区から派遣された当初は、期待よりも不安が大きくありました。文化や生活の違い、外国から来た者としての不安です。しかし、新しい環境に身を置きながら、新たな気持ちで日本での生活をスタートさせました。司牧活動をより良く行うために、1年間はひたすら日本語の勉強に励みました。集中して勉強した1年が終わった直後、コロナという大きな問題が発生しました。全ての人が苦しみを感ずる中、飛行機がなくなり、母国である韓国との行き来ができなくなりました。また、韓国食品の輸入も滞り、一層、一人暮らしや孤独感、寂しさを感じるようになりました。しかし、このような状況の中でも、神さまはたくさんの天使を私に派遣してくださいます。彼らは心遣いや配慮、耳を傾けてくれたり、心を傾けてくれる天使たちでした。彼らとの出会いに心から感謝しています。



徐仁徳神父様6年間 正 말 감사 합니다

おどけた仕草で別れを惜しむ徐神父

まだまだ不十分な日本語でしたが、浄水通教会(主任・牧山勝美神父)の助任司祭として派遣司牧が本格的に始まりました。牧山神父様から司祭としての霊性や生活、司牧の方法など、さまざまなことを学ぶことができました。おかげで日本の司牧にも徐々に慣れてきました。その後、北九州の戸畑教会と若松教会への異動が決まり、日本での2回目の生活が始まりました。ここでも、神さまのお恵みにより、たくさんの天使と出会う機会を与えていただき、日々感謝の気持ちで過ごすことができました。福岡教区の先輩神父の方々からも多くのことを学び、彼らも私の原動力となったことにも感謝しています。

来年は、叙階20年の記念の年となります。これまで出会った数々の天使たちと共に、さらに新たな天使たちを見つけ、与えられた恵みに感謝しながら、幸せで平凡な司祭として過ごしていきたいと思えます。

スターマリア・デ・ジヨルジュからの依頼で、正月には「平和の祈り」を捧げ、世界から戦争や紛争の被害がなくなるようにと心を一つに願った。 報告 中村 眞弓

福岡教区内での司牧に感謝 お元気で！ 天使たちとの6年間

計報

徐仁徳(ソインドック)神父 戸畑・若松教会主任

ゼンジョン・スノホ氏 ジョン・ウオンチヨル神父 (テグ教区司祭・大名町教会助任)のご尊父が、1月11日に帰天されました。享年62。

セシリア三木 サニア修道女 (シオフィアイユの幼きイエス修道会) 1月9日帰天。享年96。 修道生活62年でした。

サンパウロ 福岡宣教センター

営業時間: 10:00~18:00
定休日: 日曜日・祝日
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 / fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業

- 一般住宅(新築・改築工事)
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOUEEN)

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

北九州地区 行橋教会 羊飼いたちが幼子を拝みに来た



下町豊重神父(左) (行橋・豊津教会主任)

イブのミサは、豊津巡回教会が午後5時からと行橋教会が午後7時から行われた。外の寒さとはうらはらに、両教会の中は大勢の人でいっぱいになり、熱気に満ちていた。

いつもミサに与っている人たちやクリスマス時だけだと、勇んで集まった人たち、それに隣接しているカトリック幼稚園の教職員や子ども連れの保護者も参加したミサは荘厳さに包まれた。御子イエスが幼い子どもによって馬小屋に運ばれ、明るくなった聖堂には聖歌が響き渡った。一同は心を込めて平和や希望を幼子イエスに懇願した。参加者の一人は、「イエス様に一緒に歌を捧げたり、お祈りが



献香を行う下町神父(右から2人目)

できたりと本当に幸せなひとときでした。世界中が救い主を迎えて安らかに、平和をつくり出していかれたらいいなと思います」と話していた。イブミサの後には恒例の祝賀パーティーが行われ、歌などの出し物や準備された料理で場内は盛り上がりつつあった。ベトナムの若人たちが協力して作ったイルミネーションが教会と集まった人々を明るく照らしていた。

報告 教会の一信者

世界奉獻生活の日に 召命の道を歩む若者たち

聖ヨハネ・パウロ二世教皇が定めた「世界奉獻生活の日」は、毎年2月2日「主の奉獻の祝日」に祝われ、福岡教区では、2月1日(土)に大名町教会において感謝ミサが捧げられる。それに合わせて、神からの呼びかけにこたえ、奉獻生活者としての道を歩み始めた若者たちを紹介する。いずれも光丘教会(福岡市)出身の3人の若者たちの証しである。

かっこいい神父に憧れて

サレジオ会神学生
フィリップ・ネリ 堤 峻作

幼い頃から光丘教会の主任司祭、通っていた二日市カトリック幼稚園の園長先生など、優しくいつも人々に囲まれていた神父様方がかっこいいと思っていました。小学校4年生のとき、「神父様の数が減っている」という母の何気ない言葉から神父になることを意識し始めました。初めの頃は、「自分は幼児



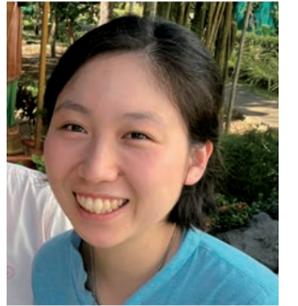
洗礼だし、男だし、かっこいい神父様たちみたいになれるんだっつたら」と軽い気持ちで。中学1年生の時にサレジオ会主催の野尻湖少年聖書学校(現ボスコキャンプ in 野尻湖)に参加し、若者たち

と全力で関わるサレジオ会の子が、海外宣教も含め15年が経ちましたが、今は上智大学神学部で勉強しており、2月に終生誓願を行います。ここから司祭まであと数年。長い道のりですがこの生き方に深い喜びを感じています。お祈りをもつて支えてくだされば幸いです。

より良く生きたい

サレジオ会シスターズ志願者
ルチア 相良 百合子

なぜ自分が奉獻生活に憧れを持っていいのか考えた時、よりよく生きたい」という漠然とはあるが本物を求める強く揺るがない望みが炎のように自分の中で燃えていることに気づいた。そしてこれは小さい頃から私の中にあつたものでもある。この、神様が私の心に灯してくださった望みに応え続けることが召命に生きるのだと思っている。



私にとって、よりよい生き方とは奉獻生活だ。奉獻生活者は神様に自分自身のすべてを捧げるといふ誓いを立てる。この神様との関係、神様との誓願に「忠実であること」が最も大切だと私は思っている。

神様が絶えず私たちに恵みと祝福を送り、私たちがこの契約にいつも忠実であられるように、私も神様からの恵みに常に敏感に、日頃の小さな事を通して犠牲や愛の行いを感じ謝の心でお捧げしていきたい。特に私が目指すサレジオ会シスターズは子どもたちへの教育という使命を通して忠実に神と人々に尽くす最高の生き方だと思ふ。

子どもたちと福音宣教に 尽くす人へ

サレジオ会シスターズ
テレサ 柚 優美



私は高校3年生で、残り少ない高校生活を大切に過ごしています。私は今まで、高校で過ごす毎日が当たり前だと思っていました。一日一日を何事もなく過ごすこともできませんし、何かをして過ごすこともできません。その選択は自由です。ですが、そんな日々が自分の知らないうちに過ぎてしまふとこれから経験することができない貴重な時間も通り過ぎ、すぐに消え去る



ほけぶりに浮かぶ崎津教会

崎津教会 献堂90周年に寄せて

福岡教区では、視覚障害者をはじめ、「読む」ことが困難な方々のために、教区報の音訳化に取り組み、2024年12月号より視覚障害者へのCD図書の提供および教区HPでの音訳版の配信を開始しました。視覚障害者は点字で情報を得ていると思われがちですが、実際には、点字の識字率は全体の1割程度だと言われています。点字を読むのは、特に中途失明者にとっては大変困難なことなのです。そこで登場したのが音訳による録音図書です。1957年、日本国際基督教奉仕団のテープ・ライブラリーに始まった録音図書は、オープンリールからカセットテープ、CD図書へと形を変えてきました。2000年代にはネット上の「サビエ図書館」が全国で所蔵されている録音図書のデータを集約、その検索・ダウンロードが可能となり、現在では利用総数も年間500万タイトルに達するまでに発展しました。

「音訳」とは読むことが困難な方の「目の代わり」となって文字や図表の情報を声で伝えることであり、読み手の解釈で感情豊かに読む朗読とは目的が異なります。内容が正しく伝わるよう正確に読むこと、また、写真や図表なども全国視覚障害者情報提供施設協会の定める指針に沿って表現するよう求められています。教区報の音訳版は教区HPの「NEWS新着情報」よりお聞き頂けます。小さい字が読みにくい、日本語を読むのが難しいという方も是非ご利用ください。また、視覚障害者の方には毎月CD版をご自宅にお送りすることが出来ますのでどうぞご連絡ください。

大学では、保育士と幼稚園教諭の資格を取りたいと考えています。またシスターとしても、子どもたちと福音宣教に尽くす人になりたいと思っています。どうか、私のためまた他の志願者の方々のため、新しい召命の恵みを願ってお祈りをお願いします。

角港、天草五橋、その先には遙か悠久の地であり四方を有明海、八代海、天草灘に囲まれた天草諸島が見えてくる。1566年ルイス・デ・アルメイダ神父によってこの地方にキリスト教が伝えられ、一時は宣教師養成の中心の場でもあったこの地も過疎化が進み、かつての賑わいは無くなったものの、現在は世界遺産に登録された崎津集落と、先人たちが建て、今を生きる信徒が守り繋いでいる崎津教会、大江教会を一目見ようと多くの観光客が訪れる。今年で90周年を迎えた崎津教会の建設に当たっては、かつて絵踏みが行われていた庄

昨年11月24日(日)、献堂90周年の祝いにはおよそ80人が集ったが、この日を節目の時として、新たな歩み出しを共に誓い合うことができた。竹内英次神父(崎津・大江・本渡教会主任)

広告掲載をご希望の方は
下記までお問い合わせください
福岡教区本部事務局 広報部
電話 : 092-522-4059
メール : cdf-kouhou@nifty.com
※この枠で1回(ひと月)5,000円の献金(目安)をお願いしております。
※内容によってはお断りさせていただく場合もございます。あらかじめご理解とご了承のほどをお願いいたします。

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115
聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津本町448番5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306
信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
一緒に働いてみませんか
URL : http://www.st-mary-med.or.jp/

税込価格3080円
サンパウロ発行
2025年の通常聖年公布の大勅書の中で、「すべての人にとって聖年が、救いの『門』である主イエスの、生き生きとした個人的な出会いの時間となりますように」と願う。「聖年」は、キリスト教の中心であるローマの教会を訪れるのに絶好のチャンス。本書は写真と地図を多用し、77に及ぶローマの教会、5か所のカタコンベを詳しく紹介する。

☆ローマの教会巡礼ガイド
高久 充(著)
BOOK
読み専科

年間目標 互いに支え合う 交わりの教会となる

ホームレス支援 スープの会
2月から3月の2週目までの毎週金曜日に越冬炊き出し
【調理ボランティア】
14時～ 大名町教会 1階厨房
【夜回り(配布)ボランティア】
19時 初参加者レクチャー
20時 夜回り準備(袋詰め)
20時半 各コースへ編成決め
21時 各コース夜回り出発
【献品】
冬物の寝袋や防寒着、新品の下着、靴下、大きめのリュックサック、冬服
【問合せ先】
☎ 080・1793・0481 深堀
☎ 080・4317・4152 飛永
☎ 090・8412・7803 前田

2025年聖年「青年の祝祭」公式巡礼団参加募集
2025年、聖年が始まりました。
この聖年の行事の一環として「青年の祝祭」が、イタリアのローマで、7月28日(月)～8月3日(日)に開催されます。
(対象:18～30歳の全世界の青年)
聖年の扉をくぐり、世界中から集まる青年と交流できる機会です。
この「青年の祝祭」にあたり、日本の教会は、公式巡礼団を結成し参加することとなりました。公式巡礼団の旅程は、2025年7月27日(日)～8月5日(火)です。
※詳細は右記QRコードからご確認ください。
※申し込み締切り
3月10日(月) 必着

2025年聖年 希望を新たにするために ローマ・アッシジ・フィレンツェ巡礼 7日間
ローマ4大バシリカ 聖なる扉(porta santa)をくぐる25年に一度の「聖年」巡礼です。
<スケジュール>
【日時】 8月18日(月)～8月24日(日)
【同行司祭】 青木 悟神父(小倉教会主任)
中村 彰神父(大名町教会主任)
※詳細は右記QRコードを閲覧の上申し込みください。

召命を共に祈る会
福岡地区 2月18日(火)13時30分～ 大名町教会
〔問合せ先〕 ☎092・921・4532 山口
北九州地区 2月8日(土)14時～ 小倉教会
〔問合せ先〕 ☎0949・24・9905 藤井
熊本地区 2月20日(木)9時30分～ 健軍教会
〔問合せ先〕 ☎096・369・8896 松上

各種団体の定例会
詳細につきましては、福岡教区ホームページ「教区報2月号」、または右記QRコードからご確認ください。

福岡教区広報室アドレス
https://fukuoka.catholic.jp
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

案内板 会合と催し 2月のこよみ

福岡教区創立100周年に向けて
「シノドス的」な教会の歩みを推し進めましょう!
2027年7月16日まで
あと29ヶ月
2025年聖年、この1年を「希望の巡礼者」として歩みましょう。教区100周年の8巡礼指定教会を聖年の巡礼指定教会とします。
大名町教会・浄水通教会・久留米教会
小倉教会・佐賀教会・島崎教会
八代教会・大江教会

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -
年間テーマ: 希望の巡礼者
日 時: 2月13日(木) 10時～15時
内 容: 「希望はわたしたちを欺くことはありません」
教皇フランシスコの呼びかけ
次 回: 3月13日(木)
内 容: 「希望の巡礼者」イエスさまとともに歩む
※2025年から、指導はチームで行われます。
問い合わせ先: 真命山諸宗教対話センター
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町疇浦1391-7
E-mail shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

集いの詳細は、各問合せ先にお尋ねください。
美野島司牧センター
ホームレスの方に温かい食事と衣類
毎週火曜日10時
ホームレス支援炊き出し
3月2週目まで大名町教会「スープの会」と協働
路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日14時
問合せ先 ☎092・4331・419 コース・マルセル神父

大濠カトリック教会館・宣教養成センター
ミニアサロン大濠
第1・第3水曜日10時
問合せ先 ☎092・753・6765 角田
みことばのお弁当
第4木曜日10時
問合せ先 ☎092・753・6765 大濠カトリック教会館
宣教養成委員会「黙想と祈りの集い」テゼの歌と共に
ろうそくを見つめ、短い歌を繰り返して、静かに黙想する時間を過ごしませんか?

編集後記
後記が浮かばず「聖霊来てください!」とずっと祈っていた。「聖年が始まる」年末に歩道で転んで親指を脱臼、死ぬほど痛い目に「事務所のパソコンが送信不能になりパニック」など「ネタ」は山ほどあるのにどれも話がまとまらない。とうとう入稿日当日

日。祈り続ける私を横目に、母がなぜかいつもの朝と違うテレビ番組を観ていた。流れていたニュースは第47代アメリカ大統領の就任式。アメリカ大統領といえど、いつか紹介したいと思っていたミサ説教の話がある。「ケネディ(アメリカの第35代大統領J・F・ケネディ)家の家訓は『人生は不公平』だそうです。うわ、分かる!」例えば、忙しい人とそうでもない人。用事を頼まれても断らない人は、次から次にいつも

Table with 2 columns: Date and Event. Includes events like '感謝ミサ司式(大名町)', '世界病者の日', '年間第5主日 老司教会司牧訪問', etc.

※福岡教区で奉仕された司祭の帰天日は右記QRコード、または教区ホームページのカレンダーでご確認ください。

Time spent in Kokura Church is the time well spent.
小倉教会で過ごす時間は貴重で有意義な時間
Kiko Jaro キコ ジャロ (the philippines)

Attending mass in Kokura Church is deeply personal and spiritual. The English mass caters to an international audience, which can broaden perspectives and create new relationships among churchgoers. Because the international community within Kokura Church is quite small, there is a deeper personal connection that the churchgoers can have with each other and the mass President. The intimate environment also paves the way for a more personal and spiritual experience while attending mass. The small environment instills a more spiritual experience for the churchgoers and allows them to focus more on themselves and their own personal communication with God and the messages that He has for them.

参列者もインターナショナルな英語で授かる洗礼式
Kokura Church, along with its beautiful and modern design, creates a welcoming and peaceful environment to come and connect with God. Sitting down on one of the pews and looking at the crucifix in front of you, even without a mass going on, can prove to be one of the most serene and peaceful moment one can experience. The beauty of the church emphasizes the importance of this experience and only heightens the experience with the natural peace and tranquility that can be experienced when setting foot inside the church. Time spent in Kokura Church is time well spent.

度(に)。(W)
かたくして入稿日に後記がまとまった(かな?)。自分に必要な祈りは必ず届く。脱臼したが、まさかこんな何でもない歩道で転ぶとは、さすがに神さまも予測不能? (苦笑)
今はまだ不慣れな怪我也きつと何か意味があるはずだ。
イエス様、マリア様、お忙しいところいつも本当にありがとうございます。私もお二人を見做い、喜んで忙しい日々を送ります。転ばない程度に。(W)

私たちと一緒に おはなしませんか?
安心してお話が出来る人をお探しの方へ。
メール: hanahanahimawari2020@gmail.com
☎: 080-4735-6971 (9:00-21:00)
※対応できないときもあります。
※原則1回30分です。
LINE 右記QRコード
一ぶろじえくとHana
ぶろじえくとHanaは、社会福祉士・看護師・シスターなどが在籍している、礼拝会を中心としたグループです。

福岡教区セクハラ対応窓口
セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談
セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話 080-2694-4182
受付時間 月～金(祝日を除く)
10:00～12:00 13:00～16:00